

報道関係者各位

Asian Art Award 2017 supported by Warehouse TERRADA

第 1 回 大賞 山城知佳子氏、特別賞 谷口暁彦氏に決定！

本年創設された現代アートアワード「Asian Art Award 2017 supported by Warehouse TERRADA」（主催：一般社団法人 アート東京、特別協賛：寺田倉庫、協力：文化庁）は、9 月 27 日（水）に、大賞受賞者と特別賞受賞者を決定しました。本アワードは、アジアを起点に今後、国際的な活躍が期待されるアーティストの支援を目的として創設された現代アートアワードです。選考委員 5 名が、5 組のファイナリスト選出し、ファイナリスト展にてそれぞれ新作・準新作を発表、シンガポール・中国から来日した専門家を含む審査員らが、同日、展示作品の最終審査を行いました。

同日に行われた審査会では、日本を拠点に活動をしているアーティストをアジア圏のアートシーンに紹介すること、また日本の社会状況あるいは文化状況に対して批評的な視点でアプローチし表象していること、またそれが日本のみならず日本を取り巻くアジア圏について新しい視点や洞察を与えていることを軸に作品の評価が行われました。

最終審査の結果、山城知佳子氏が大賞に選ばれ、賞金とトロフィー（工業デザイナー 川本尚毅氏制作）が授与されました。山城氏には、賞金の他に、副賞としてシンガポール（日程：2018 年 1 月）と「アートフェア東京 2018」日程：2018 年 3 月 8 日 - 11 日、場所：東京国際フォーラム）会場内にて作品発表の機会が提供されます。

大賞受賞が決まり山城氏は、「三面のスクリーンで構成された映像インスタレーション《土の人》を解体し、一面のスクリーンで成り立つ作品へと再構築することで、映画として通用する作品に生まれ変わらせることにチャレンジすることができました。映画は、より多くの人々に思いを届けることができるメディアで、この作品を通じてアジアの方々と繋がって行きたい』と思いを込めて作ったので、思いが実現し大変嬉しく思っています」と語りました。

特別賞は谷口暁彦氏が受賞しました。審査の詳細については、公式 web サイトにて公開します。(URL：<http://asianartaward.com/> ※10 月中旬予定) また、本アワードの目的である若手作家育成のために、アーティスト、ロン・イングリッシュ氏がアートフェア東京 2017 会場で公開制作した作品の売上の一部が寄付されました。（協力：JPS GALLERY HONG KONG）

なお、ファイナリスト 5 名による「Asian Art Award 2017 supported by Warehouse TERRADA -ファイナリスト展」は 10 月 29 日(日)まで TERRADA ART COMPLEX（東京都品川区東品川 1-33-10）で開催しています。

【Asian Art Award 2017 supported by Warehouse TERRADA 受賞者】

大賞 山城知佳子（ヤマシロ チカコ）

特別賞 谷口暁彦 （タニグチ アキヒコ）



右：大賞受賞、山城知佳子氏の作品「土の人」

左：大賞を受賞した山城知佳子氏（中央）、特別賞を受賞した谷口暁彦氏（右から 2 番目）、一般社団法人 アート東京代表理事 來住尚彦（左から 2 番目）、寺田倉庫代表取締役 中野善壽（右）、本アワードディレクター 小澤慶介（左）

大賞受賞者



山城知佳子

<略歴>

1976 年 沖縄生まれ / 沖縄在住

映像や写真を使い、出生地である沖縄の地政学的なあり方を巡って映像作品を発表してきた。近年では海外の物語や歴史を引用し、沖縄の問題を沖縄の問題としてだけでなく、世界中に偏在する、強国に抑圧されている弱きものの語りとして展開している。近年「From Generation to Generation: Inherited Memory and Contemporary Art」(ユダヤ現代美術館/アメリカ、2016-17)「あいちトリエンナーレ 2016」(旧明治屋栄ビル/愛知)などの展覧会に参加。



特別受賞者



谷口暁彦

<略歴>

1983 年 埼玉県生まれ / 埼玉県在住

メディア・アート、ネット・アート、映像、彫刻など、さまざまな形態で作品を発表する。また、渡邊朋也とともに、新宿・思い出横丁で発見されたメディア・アートにまつわるエフェメラルでアンフォルメルなコミュニティ、「思い出横丁情報科学芸術アカデミー」の一員としても活動する。近年、「オープン・スペース 2016」(NTT インターコミュニケーションセンター)「SeMA Biennale Mediacity Seoul 2016」(ソウル市立美術館)などの展覧会に参加。



Asian Art Award 2017 トロフィーについて



大賞に授与されたトロフィーは、工業デザイナーの川本尚毅氏によりデザインされ、制作されました。様々な価値観・モノの捉え方が生まれる現代という大海原を、かつて船乗りが使用した六分儀をモチーフに、進むべき道を導きつづけてほしいという思いが、込められています。

(製作協力：株式会社 中越工業)

川本尚毅/工業デザイナー・株式会社 N and R Foldings Japan 代表

広島市呉市出身。東京造形大学卒業後に渡英し、Royal College of Art, Imperial College London の両大学院で工業デザイン工学の修士号を取得。ロドリゴ・ソロッサーノと共に N&R FOLDINGS を立ち上げ、帰国後 N&R FOLDINGS JAPAN を設立。平面と立体を行き来するものづくり手法を得意とし、折り紙をモチーフにしたバッグ“ORISHIKI”をはじめとするオリジナルプロダクトの開発から、現代美術家のサポートまで幅広く手掛ける。

本アワード主旨

「Asian Art Award supported by Warehouse TERRADA」は、日本からアジア、アジアから世界へと、今後ますます国際的な活躍が期待されるアーティストの支援を目的に創設された現代アートの新しいアワードです。本アワードは、5名のキュレーターからなる選考委員によって選ばれた5組のファイナリストたちによって競われます。本展で、ファイナリストは新作・準新作を発表し、審査員7名と特別審査員による審査を経て大賞と特別賞を決定します。大賞受賞アーティストには、今後のさらなる活動の展開を期待し、賞金、制作活動場所、シンガポール、そしてアートフェア東京での受賞作品展示の機会が提供されます。芸術を巡る制作・評価・流通・保存・支援などの複合的な観点から、国を超えてアジアのアートシーンの「いま」をつくる継続的な枠組みの創出を目指します。[ウェブサイト www.asianartaward.com]

アワード概要

名称	: Asian Art Award 2017 supported by Warehouse TERRADA
主催	: 一般社団法人 アート東京
特別協賛	: 寺田倉庫
協賛	: TERRADA ART ASSIST 株式会社
協力	: 文化庁
賞	: 大 賞 賞金 100 万円
	副 賞 シンガポールと東京（アートフェア東京 2018 会場）での受賞作展示 及び制作活動場所※[6 ヶ月-1 年間]の提供
	特別賞 制作活動場所※[6 ヶ月-1 年間]の提供 ※TAC ART STUDIO (TERRADA ART COMPLEX 2F)

審査員 (*敬称略)

秋元雄史	東京藝術大学大学美術館 館長・教授／金沢 21 世紀美術館 特任館長
長谷川祐子	東京都現代美術館 参事／東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科 教授
林洋子	文化庁 芸術文化調査官
Joyce Toh	シンガポール美術館 キュラトリアルチーム 共同代表
You Yang	ユーレンス現代美術センター 副館長
高橋龍太郎	精神科医／アート・コレクター
宮津大輔	アート・コレクター／横浜美術大学 教授／京都造形芸術大学 客員教授

特別審査員 (*敬称略)

隈研吾	建築家／東京大学 教授
-----	-------------

ファイナリスト選考委員 (*敬称略)

小澤慶介	本アワードディレクター／アートの代表／キュレーター
国枝かつら	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 学芸員
正路佐知子	福岡市美術館 学芸員
服部浩之	インディペンデント・キュレーター
山峰潤也	水戸芸術館現代美術センター 学芸員

ファイナリスト (*敬称略)

谷口暁彦 Akihiko Taniguchi

1983 年 埼玉県生まれ / 埼玉県在住



メディア・アート、ネット・アート、映像、彫刻など、さまざまな形態で作品を発表する。また、渡邊朋也とともに、新宿・思い出横丁で発見されたメディア・アートにまつわるエフェメラルでアンフォルメルなコミュニティ、「思い出横丁情報科学芸術アカデミー」の一員としても活動する。近年、「オープン・スペース 2016」(NTT インターコミュニケーションセンター)「SeMA Biennale Mediacity Seoul 2016」(ソウル市立美術館)などの展覧会に参加。

松川朋奈 Tomona Matsukawa

1987 年 愛知県生まれ / 京都府在住



身の回りの痕跡をモチーフに、現代を生きる人々の虚栄心や孤独といった内面を絵画で表現する。主な個展に「Artist Meets Kurashiki vol.12松川朋奈」(大原美術館、岡山、2016年)などが、また、主なグループ展に「六本木クロッシング2016僕の身体あなたの声」(森美術館、東京、2016年)「If Only Bella Abzug Were Here」(Marc Straus Gallery、ニューヨーク、2016年)などがある。

山本高之 Takayuki Yamamoto

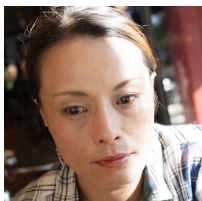
1974年 愛知県生まれ / 愛知県在住



小学校教員としての経験を元に、子供達とのワークショップ形式の活動により「未知に出会う」体験を創出し、教育制度を批評しながらアートを通じそのオルタナティブなあり方を探求している。近年、民話に焦点を当てたりサーチを各地で行い、近代の社会システムと個人との関係性をテーマにした作品に取り組む。「Kochi-Muziris Biennale」(インド、2016-2017)「未見の星座—つながり／発見のプラクティス」(東京都現代美術館、2015)などの展覧会に参加。

山城知佳子 Chikako Yamashiro

1976年 沖縄生まれ / 沖縄在住



映像や写真を使い、出生地である沖縄の地政学的なあり方を巡って映像作品を発表してきた。近年では海外の物語や歴史を引用し、沖縄の問題を沖縄の問題としてだけではなく、世界中に偏在する、強国に抑圧されている弱きものの語りとして展開している。近年「From Generation to Generation: Inherited Memory and Contemporary Art」(ユダヤ現代美術館/アメリカ、2016-17)「あいちトリエンナーレ2016」(旧明治屋栄ビル/愛知)などの展覧会に参加。

contact Gonzo

2006年 大阪府にて結成



肉体の衝突を起点とする独自の牧歌的崇高論を構築し、即興的なパフォーマンス作品や、映像、写真作品の制作、マガジンの編集などを行う。70年代の「ゴンゾ・ジャーナリズム」に由来した集団の名称であると同時に彼らが実践する方法論の名称でもある。現在、さまざまな果物を時速100キロで身体に打ち込む行為や山中の斜面を滑り降りる「山サーフィン」、デジタルな素材を扱うビデオゲームなどを作品化している。

<Asian Art Award 2017 supported by Warehouse TERRADA – ファイナリスト展のお知らせ>

名称： Asian Art Award 2017 supported by Warehouse TERRADA – ファイナリスト展

会期： 2017 年 9 月 23 日（土） – 2017 年 10 月 29 日（日）

火 – 木曜日・日曜日 11:00 – 18:00

金曜日・土曜日 12:00 – 20:00

月曜日 休 ※9 月 27 日（水）は 13:00 – 19:30

会場： TERRADA ART COMPLEX 4F（東京都品川区東品川 1-33-10）

料金： 入場無料

ART
TOKYO
ASSOCIATION

一般社団法人 アート東京

一般社団法人 アート東京は、日本のアートマーケットの発展と芸術文化の振興を目的とし、アートに関連する様々な事業を企画・制作しています。国内最大級のアートの国際見本市「アートフェア東京」を主催するほか、日本のアート産業に関する市場調査の実施、アートを切り口に地域の魅力を外国人に紹介するアートツーリズム事業等、アートフェア東京で培ったネットワークを活かし日本のアートシーンの発展に寄与しています。

 TERRADA

寺田倉庫

寺田倉庫は保存保管事業を礎とし、芸術や文化を次世代に継承するビジネスに取り組んでいます。オンラインビジネスにおいては、IT を駆使したバーチャルギャラリー&アートコンプレックスの企画運営、拠点である天王洲では倉庫空間を活かしたアートコンプレックス、アトリエ、ミュージアムを運営しています。このほか、社会人向けアカデミー、修復士育成を目的とした大学寄附講座を開設し、未来のアートを担う人材育成にも力を注いでいます。

お問い合わせ

本アワード及び広報図版等に関するお問い合わせ

office@asianartaward.com

一般社団法人 アート東京 三木

記者会見・リリースに関するお問い合わせ

press@artfairtokyo.com

一般社団法人 アート東京 島田

〒106-0041 東京都港区麻布台 1-9-12 飯倉台ビル 4 階

TEL: 03-5797-7912 / FAX: 03-5797-7913